

# 食品ロス削減法が成立!

## かわの義博活動レポート

### 国民運動で廃棄を抑制

私が初めて手掛けた議員立法。まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」の削減をめざす「食品ロス削減推進法(議員立法)」が、全会一致で可決・成立しました。同法は、政府や自治体、企業の責務や消費者の役割を定め、「国民運動」として問題解決に取り組むよう求めています。

政府に対しては、食品ロス削減推進の基本方針を定めることを義務付け。都道府県と市町村に削減推進計画を策定するよう努力義務を課しています。

企業は国や自治体の施策に協力し、消費者も食品の買い方を工夫することなどで自主的に削減に取り組むよう求めています。



全国フードバンク推進協議会に法律成立を報告

未利用食品を福祉施設や災害被災地などに提供するフードバンク活動の支援なども法律に盛り込まれ、関係者からは喜びと期待の声が上がっています。

2015年12月に党内にプロジェクトチームを設置、私はその事務局長として奔走してきました。食品の製造・流通・小売り、そしてフードバンクなど多様な関係者から現場の声を聞き、17年に法案骨子をまとめました。

それから2年弱、全会一致で成立させることができました。食品ロスの削減とフードバンク支援を国民運動として推進するためのスタート台に立つことができましたと思います。

(発行元)  
河野義博後援会  
〒810-0045  
福岡市中央区草香江1-4-34  
エーデル大塚202号  
TEL 092-753-6491  
FAX 092-753-6492

## 日米地区協定見直し求め訪米

### 米政府に具体的提言

日米地位協定の見直しを米政府に要請するため、米国の首都ワシントンを訪問。国務省のマーク・ナッパー次官補代理代行、国防総省のポール・ボステイ日

本部長らに対して具体的な提言を行い、意見交換をしてきました。

公明党として初となる地位協定の改善に向けた申し入れに対して、米政府側からは、深く感謝の意



ナッパー氏に提言書を手渡す

が表され、内容については真摯に受け止めるとのことでした。また、基地周辺住民の負担軽減については、あらゆる努力を続けたい決意も示されました。

今後の日米の政府間交渉において、今回の提案が検討対象となるよう、さらに働き掛けを強めていく決意です。

## バイオマス発電事業者協会で講演

バイオマス発電事業者協会で講演させていただきました



【写真】。世界の潮流は再エネとなっており、欧

州では当初より高い目標を掲げ、再エネ比率が30%を越える段階に入ってきています。一方、日本はまだまだ目標値が低いと指摘。「野心的な目標を持つてこそ、産業を誘引できる」と述べました。

# 沖縄・北部基幹病院、児童虐待防止など

## 国会論戦で大きな成果



厚生労働委員会で質問に立つ

第198回通常国会では、沖縄・北部基幹病院の設立や児童虐待の防止など、多彩なテーマを質問に取り上げ、大きな成果を挙げる事が出来ました。

「国もしっかりと支援を」と訴えました。県北部の急性期医療について、名護市の県立病院と医師会病院が担うものの、両病院の診療科の重複などを背景に医師が不足し、急患の受け入れ制限が発生している」と指摘。両病院の機能を集約し、新たな基幹病院を早期整備するよう強調しました。

政府側は、地域医療介護総合確保基金を活用すれば、国が三分の二、地方が三分の一の負担となる。地方負担分三分の一については、普通交付税措置を講じているため、実質的には地方の負担は生じない、と答弁しました。児童虐待防止策を強化する児童福祉法改正案では、禁止規定が盛り込まれた体罰に関する、定義は定めず、政府がガイドラインを示すことから、想定する範囲を質しました。政府側は「学校教育法や国連・子どもの権利委員会

の定義などを参考に「する」と述べました。

## 水質基準 7月から検討

### 沖縄・PFOS検出で

沖縄県の米軍普天間、嘉手納両飛行場周辺の河川から高濃度のPFOSやPFOA(有機フッ素化合物の一種)が検出された問題で環境省、厚生省、防衛省に対して、



大口副大臣に要望

策を要望しました。このうち、厚労省では、大口副大臣が水道水中濃度の「目標値」の方向性を来年4月までをめどに示すとして「7月2日に水質基準逐次改正検討委員会で議論を始める」と明言しました。

## 各地で出版記念講演会

自書『日本をどんどん笑顔に!』(潮出版社)の出版記念講演会を福岡、東京で相次ぎ開催しました。この本は、洋上風力発電の普及や防災・減災の強化など、1期6年間の実績がまとめられています。

福岡では、作家



講演された佐藤氏と握手



ナイツとの軽妙なトーク

## かわの義博 プロフィール

昭和52年12月 福岡市生まれ  
平成8年3月 福岡県立修猷館高校卒業  
平成14年3月 慶應義塾大学経済学部卒業  
平成14年4月 株式会社東京三菱銀行  
平成18年4月 丸紅株式会社  
平成25年7月 第23回参議院議員選挙比例代表初当選  
家族:妻、3女  
趣味:読書 特技:剣道6段(全日本剣道連盟顧問)

(役職)  
参議院:厚生労働委員会委員  
政治倫理の確立及び選挙制度委員会委員  
公明党:福岡県本部副代表  
沖縄方面副本部長  
佐賀県本部顧問  
参議院政審副会長  
総合エネルギー対策本部事務局長  
新エネ・再エネ推進委員長  
食品ロス削減推進PT事務局長

(国会事務所)  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館720号  
TEL:03-6550-0720 FAX:03-6551-0720

(福岡事務所)  
〒810-0045 福岡市中央区草香江1-4-34  
エーデル大塚202号  
TEL:092-753-6491 FAX:092-753-6492

公式HP:<http://kawano-yoshihiro.com> メルマガ登録:[kawano@g.blajn.jp](mailto:kawano@g.blajn.jp)